

暑中お見舞い申しあげます

前東伊豆町議会議員

須佐まもる

「誠実・実行・志し！」

「須佐まもる後援会」
で検索しよう！

バックナンバーはホームページで！

イソブキ便り 平成27年 号外！ 7月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本1496-18

Tel 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail mamo@knossos.jp

facebook いいね！
お願いします
Facebookページから情報をゲット！

氏名	得票数	得票率
須佐まもる	2,159	7.342
下田	1,403	2,256
西伊豆	1,137	2,975
南伊豆	2,462	2,474
東伊豆	1,179	2,242
松崎	1,028	1,946
河津	9,386	19,228
合計		

県議選、9,388票獲得するも惜敗！

今回の静岡県議会選挙において、たいへん多くの皆様にご支援、ご協力いただきましたが、残念ながら落選という結果になりました。これはすべて私の不徳の致すところです。実力不足でした。それでも9,388票という多くの票をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

選挙中、多くの皆様から頂戴したご意見・ご要望は、いずれ形にできるよう、今後とも努力していきたいと思っております。未熟な私のために多くの皆さんを巻き込んでしまいました。この選挙を支えていただいた皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

一市五町を隅々まで歩く



選挙期間中、渡辺周衆議院議員、藤本祐司参議院議員をはじめ多くの皆さんが応援に駆けつけてくださいました。

地元を歩いていて気付いたこととして、空き家がどんどん増えている。若い人の雇用をつくり、災害に対する安心安全なまちづくりを実践するため、古くなった公民館を建て替え、防災センターにする必要がある。集落の奥へ入っていくコミュニケーションバスを広域で考えないといけない。この地域の交通基盤の整備が欠かせない。縦貫道も大切だが、アクセス道や国道も整備する必要がある。地域ブランドを増やし、観光とコラボで地域活性化を図る。今年是世界ジオパーク認定が決まる年、世界中の人たちに伊豆をPRしよう。」と訴えました。

世界ジオパークの視察を見学

9月に決定する世界ジオパークの現地審査の様子を見に行きました。初日はあいにくの天気で、海外から来た専門家の方も表情が暗かったように感じましたが、この日はよく晴れ、西伊豆から南伊豆へ海からジオを觀察し、河津七滝の視察では、滝の形成過程や柱状節理などを興味深そうに見学していました。私も伊豆住民としてホッと胸をなでおろしました。

伊豆市スタートして西伊豆・松崎。二日目のこの日は南伊豆・下田・河津。最終日は伊東市の大室山、城ヶ崎を回る予定です。(6/10)



各市町によって取り組み方が異なりますが、東伊豆町は見所が少ないということでジオパークに力を入れません。今回の視察でも行程に入っていませんでした。

『平太さんと語るつ』@南伊豆

川勝県知事が下田市と南伊豆町にお越しになり、「移動知事室」が行われました。初日は娘の通う稲取高校を視察し、昨年から取り組んでいるスーパー食育スクールや、進路指導の関係、部活動の様子をご覧になりました。



知事は毎年伊豆半島にお越しになっています。とくに可能性を秘めた賀茂地域に着目しています。県庁から一番遠い賀茂郡に力を入れると力強く約束してくれま

翌日は南伊豆町役場のホールで「平太さんと語るつ」が開催され、私も傍聴に行きました。世界ジオ調査団に合わせたかのように知事が来られ、熱く伊豆半島の可能性、将来について語りました。とくに医療の問題では、奨学金制度を利用した医師の確保、ドクターヘリにも言及されていました。

また、会場からは、東京五輪開催に合わせ、この地域のマリンスポーツの会場や合宿地にアピールできないかと提案がありました。私も応援したいです。(6/12)

白浜ビーチクリーンに参加しました。

6月の真夏を思わせる日曜日、今年で8回目になる「白浜ビーチクリーン」に参加しました。

この取り組みは、旅行情報誌「やらん」の元営業の青木さんという方が立ち上げ、観光に携わる方や地元出身で首都圏に住む方など大勢で行われています。真夏を思わせる夏空の下、海水浴客も大勢きていました。(6/28)



ビーチは大勢の人でにぎわい、この日行われていたサーフィンの大会でもクリーンイベントが行われていました。

週末アドベンチャートリップ

週末アドベンチャートリップ実行委員会主催の「百人会議」に出席しました。週末アドベンチャートリップとは、伊豆半島の楽しみ方をコンシェルジュする仕組みとサービスです。

今日集まった人たちの多くは、伊豆、特に賀茂地域の大自然に魅力や可能性を感じ事業を興した人たちです。この取り組みがすごいのは、官と民がコラボし、その間を取り持つコーディネーターが重要な役割を担っていることです。地域の魅力や可能性だけでこれだけの人が動いたのには驚きました。みんな一点を見つめている。そう感じました。(6/30)



48種のインフォメーションカードのお披露目は圧巻！とくに体験もののアクティビティが魅力です。